

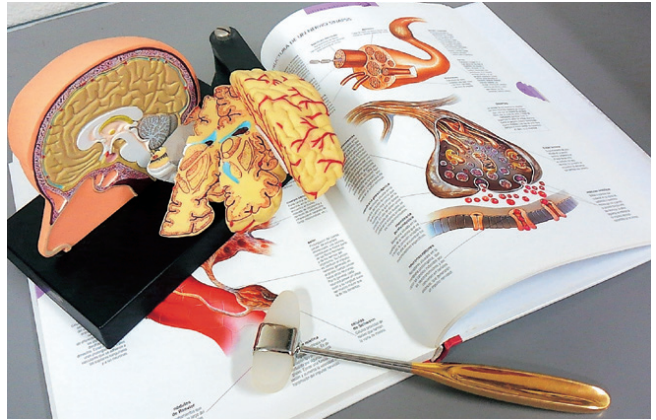
脳神経内科専門医プログラム



プログラム責任者

消化器内科学・脳神経内科学講座
菅原 正伯 講師

専門研修
担当者
連絡先
菅原 正伯 講師
TEL.018-884-6104 FAX.018-836-2611
E-mail masashir@med.akita-u.ac.jp
(タイトルに「専攻医希望/問い合わせ」と明記してください)
HP <https://www.med.akita-u.ac.jp/~naika1/>



プログラムの特徴

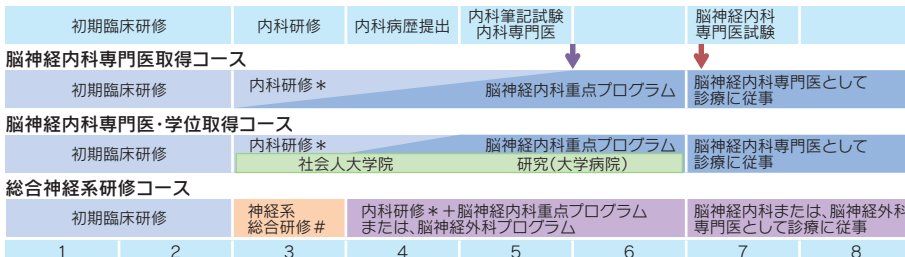
少人数の診療、研究グループですが、秋田県内の神経難病、神経免疫疾患の診療を精力的に行っています。また、学生教育にも力を注いでいます。専門医育成に関しても、十分な成果を上げてきました。秋田には、血管障害、認知症、てんかんなどのcommon diseaseの診療に従事する脳神経内科医が、まだまだ足りません。地域医療に貢献できる、研究マインドを持ち合わせた、神経・筋にかかわる疾患の総合診療ができる脳神経内科専門医を育成することを、目的としています。

プログラムの説明

脳神経内科はcommon disease(頭痛、てんかん、認知症、脳血管障害)から、神経難病、末梢神経疾患、筋疾患に至るまで、多くの疾患を扱い、全身を診る診療科です。ゆえに、総合診療のトレーニングにもなります。高齢化に伴い認知症診療への関与は避けられない課題です。多くの神経変性疾患では、神経細胞内に異常凝集蛋白が蓄積し、機能障害そして、神経細胞死を引き起こすことがわかってきました。早期診断、早期治療介入のためのバイオマーカーの探索、病態修飾治療のための病因、病態解明も着実に進歩しています。ガイドラインに従って診断、治療するだけでなく、新たなevidence makingに従事できる機会に恵まれた診療科であるともいえます。特定の領域に偏ることなく、幅広い疾患を経験して、知識、診療技術を身に着けることができます。希望があれば、専門科・専門施設での、小児神経、神経放射線、神経病理などのオプション研修も可能です。脳卒中専門医を目指す人、外科と内科で迷っている人のための総合神経系研修コースもあります。

内科専門医取得後に脳神経内科専門医が速やかに取得できるように、早期から症例の登録をサポートします。また、医学博士取得をお勧めしています。社会人大学院に進学して取得(甲)するほか、論文博士(乙)を取得することも可能です。

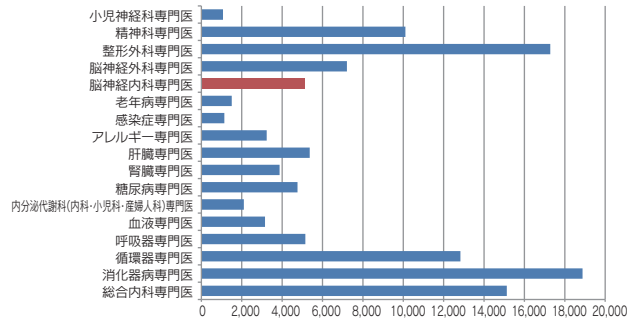
取得までのキャリアパス



内科研修*: 研修カリキュラム、研修手帳(疾患群項目表)、技術・技能評価手帳に従って必要な症例をみれなく経験。脳神経内科に所属しながら、他内科での研修も可能。脳神経内科専門医研修は大学の他、市立秋田総合病院等と連携して実施。サテライトの外来診療で診療経験を積む。
脳卒中包括医療センター、神経放射線、小児神経、神経病理での研修を組み込み可能。
神経系総合研修#: 脳神経内科または、脳神経外科に所属しながら、後期研修1年目に脳卒中包括医療センター、神経放射線、小児神経、神経リハビリ、神経病理などの脳神経系関連部門を数か月ずつ自由に組み合わせて研修。
◆主要なサブスペシャリティ: 脳卒中専門医、認知症専門医、頭痛専門医...

(図)に示すように脳神経内科専門医はまだ不足しています。キャリアプランの実現に向けて医師として多岐にわたる日々を過ごせる、脳神経内科の仲間が増えることを心から望んでいます。

当科におけるこれまでの留学先: DUKE大学、東京大学、国立精神・神経医療研究センター。希望に沿って、国内、国外の留学先を紹介できます。



専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種学会認定専門医数

日本神経学会指導医 2名、専門医 4名

■指導担当医師数と出身大学・出身高校

○指導担当医数...2名

○出身大学・出身高校...秋田大学、岩手医科大学・秋田高校、新発田高校、鶴岡南高校

■各種学会施設認定

日本神経学会教育施設

■主な連携病院

秋田労災病院、大湯リハビリ温泉病院、男鹿みなと市民病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、本荘第一病院、由利本荘医師会病院、大曲厚生医療センター、横手病院、大森病院、角館総合病院、田沢湖病院、雄勝中央病院、国立病院機構あきた病院、市立秋田総合病院 (図)

